

編集後記

コロナ禍のために第3回・第4回研究大会がオンラインで開催されていたが、第5回研究大会は東洋大学（準備委員長：鳥飼裕一教授）を開催校として令和4年10月22日（土）・23日（日）に対面式で举行された。ただし、10月22日の学会賞審査委員会と理事会はその重要性を鑑み、対面・オンラインのハイブリッド形式で開かれた。

10月23日の研究報告大会は対面式のみで開催され、討論に参加された会員は下記のとおりである（五十音順）。

石原裕也（専修大学）	市川紀子（駿河台大学）	伊藤和憲（専修大学）
岩崎 勇（大阪商業大学）	大下勇二（法政大学）	沖野光二（大阪経済大学）
小野正芳（千葉経済大学）	金子友裕（東洋大学）	加納輝尚（昭和女子大学）
椛田龍三（専修大学）	川津大樹（専修大学）	菊谷正人（法政大学名誉教授）
許 英姿（明治大学）	郡司 健（大阪学院大学）	古賀智敏（東海学園大学）
酒井翔子（嘉悦大学）	島永和幸（神戸学院大学）	島本克彦（大阪経済法科大学）
白木俊彦（南山大学）	杉山晶子（東洋大学）	鳥飼裕一（東洋大学）
中嶋隆一（情報経営イノベー ション専門職大学）	西山一弘（帝京大学）	松井泰則（大原大学院大学）
溝上達也（松山大学）	山下悦史（筑波大学）	與三野禎倫（神戸大学）
吉田智也（中央大学）		

本研究報告大会においても、比較会計制度（日本の学校法人会計の特徴 - 米国との比較 - ）、財務会計（欧州における人的資本の開示フレームワーク）、国際税務会計（米国ミシガン州の企業課税 - 日米比較 - ）、実証会計（決算公表日と利益調整の関連性）と多岐にわたる研究テーマが報告された。各報告時間は35分、参加者からの質疑応答は15分であり、活発かつ建設的な討論が交わされた。

このような濃密な議論を参考にして加筆・修正された報告論文は寄稿されたが、残念ながら諸般の都合により寄稿辞退もあった。編集委員会は、各寄稿論文について複数のレフリーを選び、編集委員長から査読を依頼した。寄稿論文は、複数の匿名レフリーにより査読され、編集委員会の審議を経て3篇の査読付き論文が掲載されることになった。

最後に、本機関誌の編集に携わった編集委員会メンバー（第2期：2021年4月1日－2024年3月31日）は次のとおりである。

編集委員長：菊谷 正人（法政大学名誉教授）
編集委員：池田 公司（甲南大学教授）
溝上 達也（松山大学教授）
吉田 智也（中央大学准教授）

（菊谷記す）

